



PARAMOUNT BED

取扱説明書

保証書別添

介護用ベッド

楽匠フィットシリーズ

楽匠Fit

Hタイプ

KQ-C5*** · KQ-C5***A/B/S
KQ-C6*** · KQ-C6***A/B/S
KQ-C7*** · KQ-C7***A/B/S
KQ-C8*** · KQ-C8***A/B/S
KQ-CA*** · KQ-CA***A/B/S
KQ-CB*** · KQ-CB***A/B/S
KQ-CC*** · KQ-CC***A/B/S
KQ-CD*** · KQ-CD***A/B/S
KQ-CE*** · KQ-CE***A/B/S



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

まえがき

このたびは、介護用ベッド楽匠フィットシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。



↑このベッドの使いかたを確認できます。



↑介護用ベッドの役割を確認できます。



↑介護用ベッド向けアプリがダウンロードできます。

パラマウントベッド株式会社

7F13104400A3

緊急時のベッド操作

停電時やベッドの故障時にベッドを操作する場合は、以下の方法で行ってください。

乾電池使用による操作

コントロールボックスに乾電池をセットすることで、停電時でも電動で背・膝ボトムをさげることができます。

☞ 乾電池使用での背さげ・膝さげ(P.85)

手動による操作

停電時やベッドの故障により、背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。

☞ 手動での背さげ／戻しかた(P.86)

スマートハンドルによる操作

停電やベッド故障時にスマートハンドルをアクチュエーターのケーブルに接続して、ベッドの操作を行うことができます。

☞ スマートハンドルの使いかた(P.88)

Note

停電時以外の理由で背ボトムがさげられなくなつた場合、ベッドのチェックを行い、故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンターまでご連絡ください。

乾電池使用での背さげ・膝さげ

乾電池使用での背さげ・膝さげ

乾電池はお客様自身で用意してください。

使用する乾電池：角型 9V アルカリ乾電池 2 個

△ 注意

接続ケーブルを強く引っ張らないでください。

断線するおそれがあります。

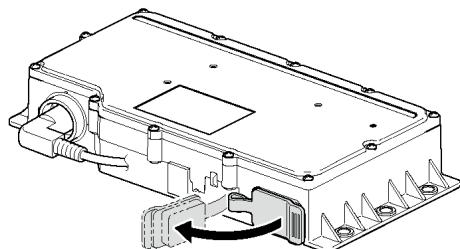
乾電池を接続ケーブルに付けたままにしないでください。

劣化して液漏れで汚れたり、故障のおそれがあります。

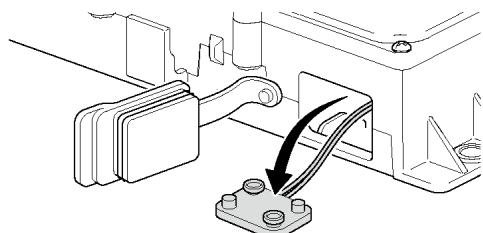
Note

- 新品のアルカリ乾電池をご用意ください。消耗している乾電池の場合、動作できないおそれがあります。
- 乾電池が外れないようにしっかりと取り付けてください。
- 背さげ・膝さげ以外のベッド操作は乾電池による動作の対象外です。ボタンの押し間違いにご注意ください。
- 乾電池によるベッド操作は、手元スイッチのみで行います。

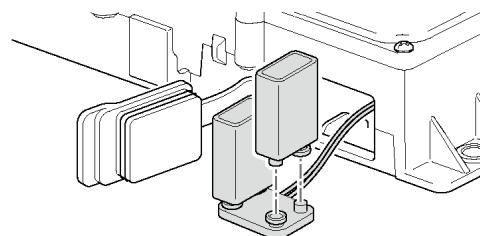
1. コントロールボックスのキャップを開ける。



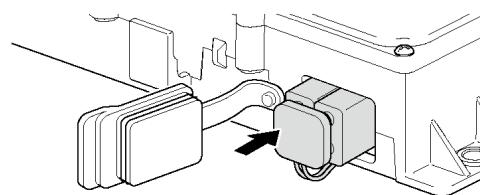
2. 接続ケーブルを引き出す。



3. 乾電池を接続ケーブルに取り付ける。



4. 乾電池を収納する。



5. 手元スイッチを操作して、ベッドをフラット状態にする。

6. 逆の手順で乾電池を取り外し、キャップを閉じる。

手動での背さげ／戻しかた

⚠ 注意

作業は 2 人以上で行ってください。

手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

電源プラグを抜いて、作業を行ってください。

ベッドが不意に動き、けがをするおそれがあります。

背ボトムを持って作業を行わないでください。

作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。

背ボトムが不意に動いて、背あげリンクがさがり、

けがをするおそれがあります。

作業の際は手袋などをしてからおこなってください。

背ボトムが不意に動くなどしてけがをするおそれがあります。

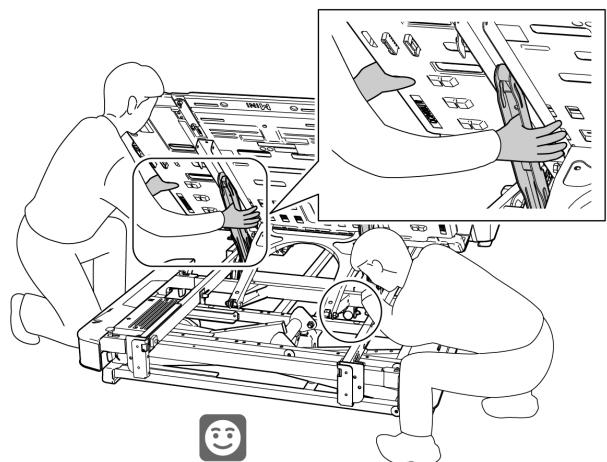
使用する工具

ラジオペンチまたはプライヤー（小）

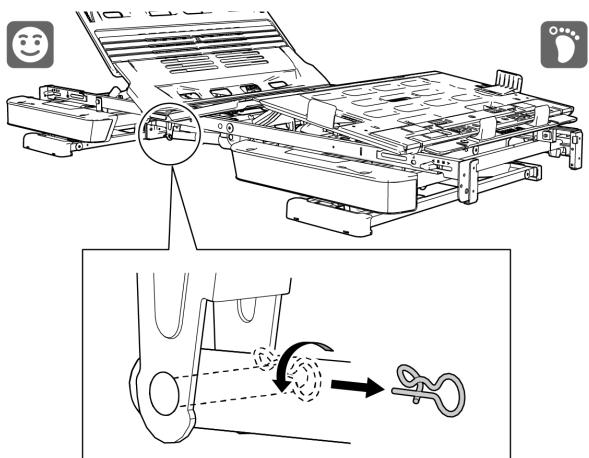
背さげのしかた

1. ベッドの電源プラグをコンセントから抜く。
2. ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
3. 頭側のボードを取り外す。

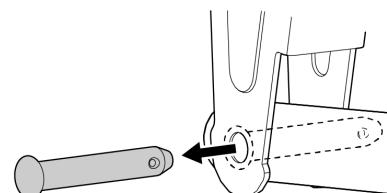
4. 背ボトムの腰側と背あげリンクを支える。



5. 図の矢印方向にひねり、スナップピン（赤）を取り外す。

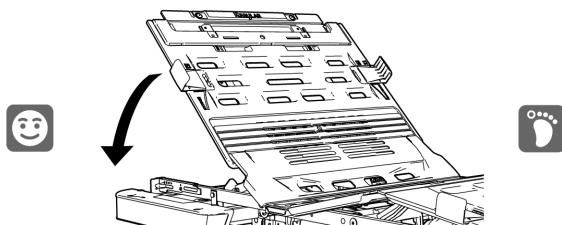


6. 背アクチュエーターを手で支えながら連結ピンを取り外す。背あげリンクが自由に動きます。



手動での背さげ／戻しかた

7. 背ボトムをゆっくり降ろす。



8. 頭側のボードを取り付ける。

Note

- スナップピンを取り外す際は、ラジオペンチなどで先端部をはさんで引っ掛けで作業を行うと取り外しが容易です。
- 取り外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。
- 作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

戻しかた

停電時に手動で背さげを行った場合は、電源の復帰後、「背さげのしかた」の手順を逆に行ってベッドを元の状態に戻してください。

Note

連結ピンは、手動で背さげしたときに取り外したものを使用してください。

△ 注意

スナップピンは、再利用しないでください。
ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。
新しいスナップピンは、パラテクノコールセンターまでご依頼ください。

スマートハンドルの使いかた

スマートハンドル (KQ-P70S・NN-2000) をベッドに取り付けると「背あげ／背さげ」「膝あげ／膝さげ」「高ささげ（頭側）」の操作ができます。

本書では、スマートハンドル (KQ-P70S) が標準で付いているベッド (KQ-C* * * * S) について記載しています。それ以外のベッドでのスマートハンドルの使い方は、それぞれのスマートハンドルの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

スマートハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

スマートハンドル操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

※ スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。

ハンドルの取り出し

ハンドルは収納ケースに入っています。収納ケースは、ベッド足側の膝・足ボトムの下に取り付けられています。

⚠ 注意

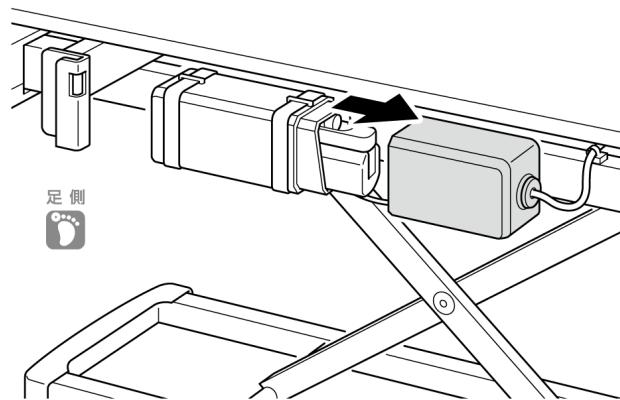
収納ケースのフタを開けるときは、ゆっくりと開けてください。

勢いよく開けると、収納ケースの中のハンドルが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。

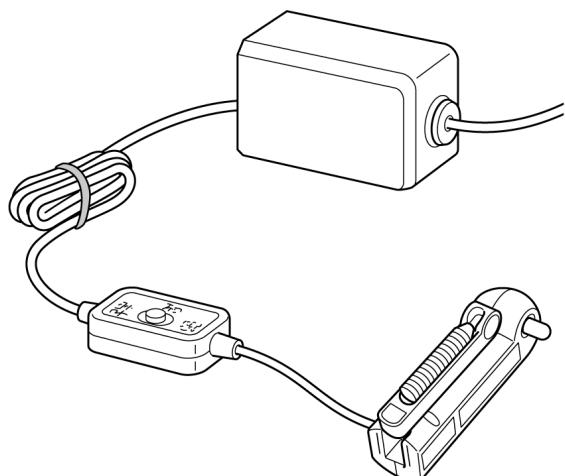
U Note

手元が暗い場合は、明かり（懐中電灯など）を使用して作業環境を整えてください。

1. ベッドの電源プラグをコンセントから抜く。
2. フットボードを取り外す。
3. 収納ケースのフタを矢印の方向に開ける。



4. 収納ケースからハンドル本体、フタからケーブルと切換スイッチを取り出す。
5. ケーブルバンドを外す。

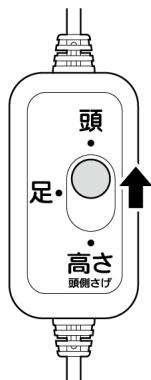


スマートハンドルの使いかた

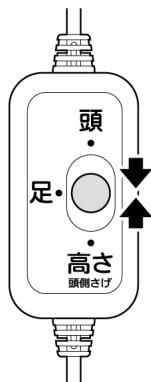
ハンドルの操作

1. 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせる。

背あげ／背さげ



膝あげ／膝さげ

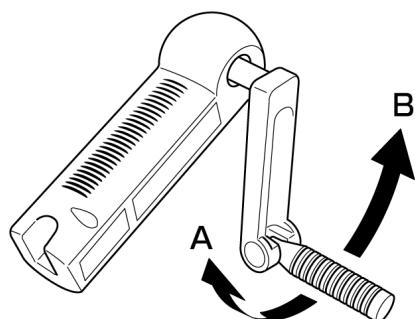


高ささげ



2. ハンドルグリップを矢印方向に回す。

ベッドが動きます。



	矢印 A	矢印 B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝があがる	膝がさがる
高さ	—	高さ(頭側)がさがる

※ 高さ(足側)のあげる・さげるの操作はできません。

ハンドルの収納

「ハンドルの取り出し」と逆の手順でスマートハンドルを収納ケースに入れて保管してください。

△ 注意

ハンドル収納後は、収納ケースのフタが確実に閉まっていることを確認してください。

ハンドルが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。